

岳北消防本部の沿革

年 月 日	記 事
昭和46年 6月 1日	消防本部及び消防署を置かなければならない市町村を定める政令第170号によって飯山市が常備化を義務付けられる。これを機に岳北広域圏事業の一環として始動する。
昭和47年 5月 12月 6日 12月22日	飯山市企画課を中心として一部事務組合の設立へ準備体制進む。 岳北広域消防事務組合の設立許可（北信事務所指令47北県第477号） 第一回組合議会開催
昭和48年 4月 1日 4月 5日 6月12日 8月 1日 10月 1日 10月20日 11月 7日 12月20日 12月21日 昭和49年 3月 1日 3月 7日	市役所内に事務局開設 職員定数43人 組織3市村からの派遣職員を含めて16名任命 消防本部及び消防署を置かなければならない市町村を定める自治省告示第74号によって、木島平村及び野沢温泉村も常備消防化が義務付けられる。 消防本部（飯山消防署）及び野沢分署庁舎建設工事着工 職員9人採用任命 指令車（三菱ジープ）、査察車（トヨタコロナバン）購入 岳北消防本部及び飯山消防署業務開始 職員37人（1本部1署3係兼務1分署） 超短波無線装置 基地局10W（飯山消防署、野沢分署各1局） 救急自動車1B型（ニッサンセドリック）購入、飯山消防署に配備 救急自動車2B型（ニッサンキャラバン）1台日本自動車工業会から寄贈、飯山消防署に配備、セドリック型救急車を野沢分署へ配備 水槽付消防ポンプ自動車（ニッサン）購入、飯山消防署に配備 一斉指令装置・通信機器完成 救急自動車2B型（ニッサンキャラバン）1台社団法人日本損害保険協会から寄贈、野沢分署に配備、セドリックを飯山消防署の救急2号車に配備
昭和49年 4月 1日 5月 1日 6月 9日 8月10日 昭和50年 2月 1日	職員4人採用、飯山市から派遣職員1人 職員42名 飯山消防署28人、野沢分署14人の体制となる。 査察車（ニッサンサニー）購入、飯山消防署に配備 救急業務を行わなければならない市町村を指定する自治省告示第131号によって救急業務が正式に義務付けられる。 飯山消防署裏庭舗装工事、消雪パイプ埋設工事、貯水槽工事完成 岳北保健衛生施設組合と合併するため、岳北広域消防事務組合を解散し、新たに岳北広域行政組合設立許可
昭和51年11月11日 昭和52年 3月31日	岳北地域防火管理協会設立 1名転出（飯山市へ）
昭和52年 4月 1日 8月30日 昭和53年 3月31日	飯山市から派遣職員1名 消防ポンプ自動車（トヨタランドクルーザー）A2級購入野沢分署に配備 1名転出（野沢温泉村へ）

昭和53年 4月 1日 4月12日 5月 2日 10月21日 昭和54年 3月31日	野沢温泉村から派遣職員 1 名 救急自動車 2 B 型(ニッサンキャラバン) 1 台長野県共済農業協同組合連合会から寄贈 査察車(スズキジムニ)購入、飯山消防署に配備 消防ポンプ自動車(トヨタランドクルーザー) A 1 級 1 台社団法人日本損害保険協会から寄贈「火災保険号岳北」と命名、飯山消防署に配備 1 名転出(木島平村へ)
昭和54年 4月 1日 5月30日 11月 1日 昭和55年 3月31日	木島平村から派遣職員 1 名 査察車(スズキジムニ)購入、野沢分署に配備 飯山消防署通信室移転 救急業務実施基準に定める 1 3 5 時間講習終了、認定証 3 0 人授与 2 名転出(飯山市、野沢温泉村へ)
昭和55年 4月 1日 昭和56年 3月31日	飯山市、野沢温泉村から派遣職員 2 名 2 名転出(飯山市、木島平村へ)
昭和56年 4月 1日 6月22日 12月 2日 昭和57年 2月 8日 3月30日	飯山市、木島平村から派遣職員 2 名 連絡車(ニッサンブルーバード)購入、野沢分署に配備 救急自動車 2 B (ニッサンキャラバン) 1 台社団法人日本損害保険協会から寄贈、装備付属品の着完了、飯山消防署に配備 消防ポンプ自動車 A 2 級 C D - 型(いすゞ K - S C S 3 3 0 フォワード F X -)購入、飯山消防署に配備 耐熱防火服(A T - 3) 3 着購入
昭和57年 4月30日 5月 1日 8月24日 9月12日 10月29日 11月24日 12月 1日 昭和58年 3月31日	1 名転出(野沢温泉村へ) 野沢温泉村から派遣職員 1 名 飯山消防署無線の空中線を「半波ダイポール積み重ね型」に変更、通信可能範囲を拡大する。 台風 18 号により樽川堤防が決壊し木島地区に水害発生 救急自動車 2 B 型(ニッサンキャラバン)購入、野沢分署に配備 化学消防ポンプ自動車 A 2 級(日機式化学 型、いすゞ K - S D R 3 2 0 フォワード F X -)購入、飯山消防署に配備 長野県防災行政無線稼働 他 1 名飯山市へ転出
昭和58年 4月 1日 5月24日 9月29日 12月 7日 昭和59年 1月30日	飯山市から派遣職員 1 名 連絡車(トヨタカーリーナ)購入、飯山消防署に配備 台風 10 号により千曲川堤防が決壊し戸狩地区、柏尾地区に水害発生 防火広報車(トヨタハイエース)日本防火協会から寄贈 飯山消防署庁内非常照明設備設置
昭和59年 4月 1日 11月 5日 昭和60年 3月31日	長野県救急医療情報システム稼働 救命ボート(ヤマハ U W 1 4 A) 1 艇購入 救命ボート用船外機(ヤマハ 9、9 D L)購入 消防職員年齢構成適正化事業 3 名転出(飯山市、木島平村、野沢温泉村へ)

昭和60年 4月 1日	3名採用〔2名新採用、1名野沢温泉村から派遣（消防職員年齢構成適正化事業）〕
5月28日	岳北消防本部救助隊発足（10名）
昭和61年 2月20日	消防ポンプ自動車A2級・BD-1型（ニッサンサファリ）購入野沢分署に配備
2月24日	救急自動車2B型（いすゞ・4WD）購入、飯山消防署に配備
3月31日	消防職員年齢構成適正化事業により1名転出（木島平村へ）
昭和61年 4月 1日	1名採用（消防職員年齢構成適正化事業）
7月15日	飯山消防署車庫改修（オーバースライダー）
7月24日	指令車（三菱パジェロ）購入、飯山消防署に配備
10月 1日	救助隊1名増員（11名）
昭和62年 3月31日	消防職員年齢構成適正化事業により1名転出（野沢温泉村へ）
昭和62年 4月 1日	野沢温泉村から派遣職員1名
4月20日	救助隊3名増員（14名）
6月12日	査察車（ダイハツハイゼット）購入、飯山消防署に配備
9月26日	軽トラック（スズキキャリイ・4WD）滝沢組より寄贈
昭和63年 3月30日	訓練塔工事第1期完成（本体）
昭和63年 3月31日	消防職員年齢構成適正化事業により2名転出（飯山市、木島平村へ）
昭和63年 4月 1日	2名採用（消防職員年齢構成適正化事業）
4月28日	重量物排除器具（マキシーホース）購入
10月 4日	野沢分署、消防無線基地、空中線「半波ダイポール積み重ね型」に変更
10月21日	救急自動車2B型（トヨタ・4WD）購入、野沢分署に配備
12月 7日	訓練塔工事第2期完成（鉄骨造5階建 H=18.15m）
平成元年 2月28日	総合気象観測装置導入第1期事業
3月31日	消防職員年齢構成適正化事業により1名転出（飯山市へ）
平成元年 4月 1日	3名採用（消防職員年齢構成適正化事業）
	飯山市から派遣職員1名
6月 2日	査察車（スズキエブリイターボ）購入、野沢分署に配備
7月28日	総合気象観測装置導入第2期事業
7月29日	日本消防協会から緊急用伝達機材寄贈（携帯無線10台拡声器2台）
9月30日	消防職員年齢構成適正化事業により3名転出（飯山市、木島平村、野沢温泉村へ）
平成 2年 3月23日	救急自動車2B型（トヨタ・4WD）長野県共済農業共同組合連合会から寄贈、飯山消防署に配備
平成 2年 4月 1日	2名採用（消防職員年齢構成適正化事業）
6月20日	飯水危険物安全協会と中高危険物安全協会を解散し、新たに北信危険物安全協会を設立
6月30日	通信統制及び緊急情報システム導入第1期事業（通信室改良工事）
8月15日	総合気象観測装置導入第3期事業
9月30日	消防職員年齢構成適正化事業により2名転出（飯山市へ）
10月 1日	野沢温泉村119番を消防本部へ統合
平成 3年 2月 1日	消防用無線機アンテナ・パンザマスト設置

平成 3年 4月 1日 9月30日 12月18日 12月24日 平成 4年 3月24日 3月31日	3名採用（消防職員年齢適正化事業） 消防職員年齢構成適正化事業により2名転出（野沢温泉村へ） 消防ポンプ自動車CD-1型（三菱キャンター）購入、飯山消防署に配備 救急自動車2B型（トヨタ・4WD、県下初の防振ストレッチャー-装備）斑尾高原開発株から寄贈、飯山消防署に配備 通信統制及び緊急通信指令施設導入第2期事業（指令台） 通信統制及び緊急通信指令施設導入第2期事業（無線機） 空気充填設備第1期事業（充填室建設） 1名転出（飯山市へ）
平成 4年 4月 1日 4月18日 5月 6日 9月30日 平成 5年 3月20日 3月31日	消防職員定数45人に改正（43人） 3名採用（消防職員年齢適正化事業） 飯山市から派遣職員1名 連絡車（スバルレガシィ・4WD）購入、飯山消防署に配備 長野県消防学校へ1名短期派遣（11月6日まで） 1名飯山市へ派遣、野沢温泉村へ1名転出（消防職員年齢適正化事業） 通信統制及び緊急通信指令施設導入第3期事業（無線統制台） 空気充填設備第2期事業（空気充填設備） 1名転出（木島平村へ）
平成 5年 4月 1日 5月11日 6月15日 12月 1日 平成 6年 3月28日	消防職員定数48人（45人） 3名採用（増員） 救助隊1名増員（15名） 初めての救急救命士誕生 県下5番目 連絡車（トヨタスプリンターカリブ・4WD）購入、野沢分署に配備 救助隊3名増員（18名） 救急自動車2B型（ニッサンキャラバン・4WD）長野県共済農業協同組合連合会から寄贈、野沢分署に配備
平成 6年 4月 1日 10月 4日 平成 7年 3月31日	3名採用（消防職員年齢適正化事業） 救助工作車（三菱ふそうファイター）社団法人日本損害保険協会から寄贈、飯山消防署に配備 1名転出（飯山市へ）、1名退職
平成 7年 4月 1日 平成 8年 3月11日 3月13日	飯山市から派遣職員1名 高規格救急自動車（いすゞスーパーメディック4WD）消防防災整備事業費補助事業にて購入、飯山消防署に配備 小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス）購入、野沢分署に配備
平成 8年 4月 1日 5月 1日 6月14日 9月25日 12月 6日	1名採用（消防職員年齢適正化事業） 高規格救急自動車運用開始 査察車（スズキエブリイ）購入、飯山消防署に配備 岳北地域防火管理協会20周年記念事業を開催 蒲原沢土石流災害発生 県消防相互応援隊24名出動
平成 9年 4月 1日 9月30日 平成10年 3月31日	2名採用（消防職員年齢適正化事業） 栄村消防常備化準備室開設 消防職員年齢構成適正化事業により飯山市へ2名派遣 救急自動車2B型（ニッサンキャラバン・4WD）長野県共済農業協同組合連合会から寄贈 1名転出（野沢温泉村へ）

平成10年 4月 1日	職員定数58人(48人)10名増員〔9名新採用・1名栄村から派遣(栄分遣所開所による増員)〕 野沢温泉村から派遣職員1名
4月20日	長野県消防学校へ1名短期派遣(5月21日まで)
7月29日	査察車(ホンダストリート)購入、栄分遣所に配備
9月30日	ポンプ車(いすゞエルフ)購入、栄分遣所に配備
11月 1日	栄分遣所開所 救急自動車2B型(平成10年3月31日に長野県共済農業協同組合連合会から寄贈)を栄分遣所に配備
平成11年 3月 4日	化学車(日野レンジャー)購入、飯山消防署に配備
平成11年 4月 1日	職員定数61人(58人)3名採用(当直体制の強化)
7月30日	指令車(ホンダCR-V・4WD)購入、飯山消防署に配備
平成12年 1月31日	1名退職
3月22日	救急自動車2B型(ニッサンキャラバン・4WD)長野県共済農業協同組合連合会から寄贈、野沢分署に配備
3月31日	2名転出(飯山市へ1名、野沢温泉村へ1名)
平成12年 4月 1日	職員定数63人(61人)4名採用(当直体制の強化)
8月22日	救助用組立式ボート(NKM-1)1艇購入、ボート用船外機(ヤマハ25NMH)購入
10月 1日	通信指令業務の専任化
11月27日	ポンプ車(日野デュトロ)購入、野沢分署に配備
平成13年 3月26日	高規格救急自動車(トヨタ・ハイメディック)市町村消防設備整備費補助金事業にて購入、野沢分署に配備
3月31日	1名退職
平成13年 4月 1日	職員定数65人(63人)3名採用(当直体制の強化)
4月13日	本部車(日産セレナ・4WD)購入、飯山消防署に配備
5月 9日	長野県消防学校へ1名短期派遣(6月13日まで)
9月27日	野沢分署2階改修工事完了
11月10日	岳北地域防火管理協会25周年記念事業を開催
平成14年 4月 1日	2名採用 栄分遣所を栄分署に改称
5月 1日	飯山消防署連絡車(トヨタ・ガイヤ)更新
9月30日	野沢分署1階改修工事完了
平成15年 3月28日	飯山消防署高規格救急車(トヨタ・ハイメディック)を更新、市町村消防設備整備費補助金事業にて購入 飯山消防署訓練場及び駐車場整備
平成15年 4月 1日	1名採用 職員交流研修により飯山市へ1名派遣(1年間)
6月28日	軽トラック(スズキ・キャリイ)更新
平成16年 2月27日	栄分署竣工(栄村役場庁舎と合築)
平成16年 4月 1日	組織改革により、消防本部に課制を導入 栄分署新庁舎業務開始
4月12日	長野県消防学校へ1名短期派遣(10月8日まで)
7月18日	福井豪雨災害発生 緊急消防援助隊6名出動
10月23日	新潟県中越地震発生 緊急消防援助隊10名出動
平成17年 2月10日	災害対応特殊水槽付ポンプ自動車(日野・レンジャー)平成16年度消防防災設備整備費補助金事業にて購入、飯山消防署に配備

平成17年 4月 1日	職員定数66人(65人)1名採用 長野県消防学校へ1名長期派遣(2年間派遣1年目)
11月 7日	長野県防災行政無線衛星系設備導入
11月16日	携帯119番通報直接受信システム導入
12月20日	災害対応特殊ポンプ自動車(日野・デュトロ)平成17年度消防防災設備整備費補助金事業にて購入、飯山消防署に配備
平成18年 1月	豪雪に伴う管内支援 延べ48名出動
平成18年 4月 1日	長野県消防学校へ1名長期継続派遣(2年目)
5月 8日	長野県消防学校へ1名短期派遣(6月9日まで)
7月11日	飯山消防署査察車更新(スズキエブリイ)、栄分署連絡車導入(スズキエブリイ)
平成19年 3月31日	1名退職、1名転出(栄村へ)
平成19年 4月 1日	2名採用
6月 9日	野沢分署連絡車(スズキエブリイ・4WD)更新
8月 1日	飯山消防署資機材搬送車(トヨタハイエースバン・4WD)更新
11月27日	通信指令台更新
平成20年 4月 1日	消防広域化研究協議会事務局へ1名派遣
9月30日	災害対応特殊救急自動車(トヨタ・ハイメディック)平成20年度国庫補助事業にて購入、飯山消防署に配備
10月 1日	栄分署高規格救急車配置(旧飯山消防署高規格救急車)
平成21年 3月13日	野沢分署積載車(ニッサンアトラス・4WD)更新
3月31日	2名退職
平成21年 4月 1日	職員定数67人(66人)3名採用 長野県消防学校へ1名短期派遣(10月6日まで)
10月15日	1名退職
11月 2日	本部車(日産セレナ・4WD)更新、飯山消防署に配備
11月12日	栄分署査察車(スバルサンバートラック)更新
平成22年 3月31日	3名退職
平成22年 4月 1日	3名採用
平成23年 3月11日	東北地方太平洋沖地震発生 緊急消防援助隊14名出動
3月31日	2名退職
平成23年 4月 1日	2名採用
9月13日	高規格救急自動車(トヨタ・ハイメディック)長野県共済農業協同組合連合会から寄贈、野沢分署に配備
平成24年 3月31日	2名退職
平成24年 4月 1日	職員定数68人 4名採用 長野県消防学校へ1名短期派遣(10月10日まで)
6月11日	野沢分署新庁舎建設工事着工
12月10日	野沢分署新庁舎竣工・竣工式
12月12日	野沢分署新庁舎業務開始
平成25年 3月29日	野沢分署旧庁舎解体工事完了
3月31日	1名退職
平成25年 4月 1日	職員定数70人 3名採用 長野県消防防災航空センターへ1名派遣(平成28年3月31日まで)
8月 9日	岳北消防本部・飯山消防署新庁舎建設工事着工
8月12日	連絡車(日産セレナ・4WD)更新、飯山消防署に配備
8月27日	消防救急デジタル無線新野沢中継局建設工事着工

8月30日	資機材搬送トラック(三菱キャンター・4WD)公益財団法人長野県市町村振興協会消防本部活動支援事業にて購入、飯山消防署に配備
9月 2日	消防救急デジタル無線貝立山中継局建設工事着工
9月 3日	ゴム製救助艇(アキレスSE400)1艇購入
平成26年 3月31日	消防救急デジタル無線新野沢中継局竣工 3名退職
平成26年 4月 1日	職員定数70人 3名採用
8月31日	消防救急デジタル無線貝立山中継局竣工
9月 1日	岳北消防本部・飯山消防署新庁舎竣工
9月 4日	岳北消防本部・飯山消防署旧庁舎閉署式 新庁舎業務開始
9月12日	岳北消防本部・飯山消防署新庁舎開署式
9月26日	岳北消防本部・飯山消防署新庁舎竣工式
9月27日	御嶽山噴火災害発生 県消防相互応援隊26名出動
平成27年 3月31日	6名退職
平成27年 4月 1日	職員定数67人 3名採用